

# 若者の結婚観に関する研究 ～インターネット上における配偶者との出会い方に焦点を当てて～

平松 翔

## 【要旨】

日本の少子化の原因の一つとして「未婚化」が挙げられるが、その最大の理由は「出会いの場がない」である。そこで本研究では、新しい出会いの形である「インターネット」を取り挙げ、インターネット上で出会いを求める人はいるのか、またインターネット上での出会いに関する意識や問題点をアンケート調査によって明らかにすることを目的とした。

本研究の結果、インターネット上での出会いを求める人は161人の回答者のうち12%(19人)しかいなかったが、インターネット上での出会いが安全であると思う人ほどインターネット上での出会いを求めていることが明らかになった。そこで、個人情報に関する法改正やテレビ番組によるインターネット上での出会いの安全性の検証等によって、インターネット上での出会いに対する一般の人の安全意識を高めていけば、「インターネット」が出会いから恋愛関係へと発展する1つの「出会いの場」になるのではないかと考えた。

## 【講評】

官公庁のデータをもとに日本で未婚化が進んでいる現状を確認し、その一因である「出会いのなさ」を解決するための手段として、インターネットを利用した出会い方の分析に進む。先行研究レビューを基に7つの調査仮説を立て、先行研究を改善するための独自のアンケート調査を実施し、統計的分析によって自身の仮説を検証している。その上で、出会い系サイト・アプリの利用を促進するための方策を提案している。

検証できなかったり、さらなる分析が行えなかった仮説もいくつかあるが、統計的な調査・分析方法の活用は十分に評価できる。巷間よく言われていることを、アンケート調査結果の分析を通して、実際の数値を根拠に検証した点は評価できる。